

令和5年1月24日

報道関係者 各位

島原市立第一小学校・幸田町立幸田小学校交流事業について

このことにつきまして、別添資料のとおりお知らせします。

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市教育委員会
電話：0957-63-1111（内線640）
E-mail：gakkyo@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

令和４年度 島原市立第一小学校・幸田町立幸田小学校交流事業

1 島原市（第一小学校）と幸田町（幸田小学校）との交流について

(1) 島原市と幸田町の関係

① 概 要

江戸時代、島原藩主として13代170年余りにわたって統治した松平家の出身地が幸田町であり、歴代島原藩主が亡くなると、三河国深溝まで運ばれ、深溝本光寺に葬られた。

なお、島原の本光寺にある松平家墓所には、第2代松平島原藩主・忠雄の墓と、島原で亡くなった夫人や庶子（幼子）の墓などがある。

② 経 緯

平成26年10月に「島原市と幸田町との歴史と文化の友好交流の推進に関する協定」が締結され、以降27年度に島原市から幸田町へ、28年度には幸田町から島原市へ100名の訪問団が両市町を訪れている。

(2) 第一小学校と幸田小学校の関係「青い目の親善人形交流事業」

① 趣 旨

幸田町（グレース・エッサ、幸田小学校蔵）と島原市（リトル・メリー、島原市立第一小学校蔵）には青い目の人形が存在し、文化財として共通点がある。これらの人形が昭和2年（1927）にアメリカから日本に贈られ、全国の小学校や幼稚園へ配布されたが、現在、わずかに残った貴重な人形同士を90年ぶりの対面させることで、歴史的背景を関係者が想起し、人形をこれまで守ってきた学校や関係者相互の文化的交流を図る。これにより姉妹友好都市の先掛けとするとともに文化財の普及啓発に寄与する。

② 日時・場所

平成29年2月17日（金）8：40～11：00 幸田小学校

③ 内 容

島原親善人形の会の訪問（市長はじめ12名 ＋ リトル・メリー）とともに、グレース・エッサを交え、訪問団を幸田小学校で歓迎する。メッセージを交換し、親善人形対面式で再会を果たすことで、人形同士のこれからの友好を「姉妹友好の誓い」として人前式の恰好で示す。

2 目 的

これまでの、島原市（第一小学校）と幸田町（幸田小学校）との交流を踏まえ、両市町の小学校において、特に「青い目の親善人形」を互いに所蔵するという関係から第一小学校と幸田小学校の児童が交流活動を行うことにより、両市町の未来を担う子どもたちに島原市と幸田町のつながりを広く知る機会とする。

3 日時・場所

令和5年1月26日（木） 14：25～15：10 多目的室

4 参加者

第一小学校 6年1～3組 計 78名

幸田小学校 6年1～5組 計176名

5 内 容

（1）はじめの言葉

（2）第一小学校 学校紹介 14：25～14：40

（3）幸田小学校 学校紹介 14：40～14：55

（4）意見交流 14：55～15：05

（5）おわりの言葉

6 方 法 オンライン（m e e t）